

善明寺識字学級が入賞 第38回部落解放文学賞

38回部落解放文学賞 表彰式



表彰状を受けとる山本はつ美さん

7月21日、ホテルベイタワー大阪で第38回部落解放文学賞受賞式がおこなわれ、134編もの応募のなかから、善明寺識字学級の紙芝居「ふる里のお話をしよう」が識字部門で入選となった。

第38回部落解放文学賞 表彰式



善明寺識字学級のみなさん

部落解放文学賞実行委員会を代表して池田清郎事務局長は「文学賞の意義や経過を含め、文学賞のとりくみは人間の尊厳を取り返す運動である」とあいさつが

その後、各部門別に表彰式がおこなわれ、善明寺支部識字学級が表彰された。文学賞のまとめとして部落解放文学賞実行委員会代表の鎌田慧さんから「部落差別だけでなく、差別されている人びとの心のよ

うと始まった文学賞も38回を数える。文学を通して、人びとに生きる希望を与えている」と祝辞をのべた。



脱原発を訴え代々木公園に集まった人たち

脱原発を訴える市民集会「さようなら原発10万人集会」が7月16日、東京代々木公園でひらかれた。

さようなら原発10万人集会

表)が集まり、和歌山県からは自治労、和歌山市職、全日通、本州化学、全農林、日教組など労働組合、解放同盟の18人が参加した。

呼びかけ人のひとりである作家の大江健三郎さんは「原発の恐怖と雪辱から外に出て、自由に生きていくことができる」と信じている

今後の日程

- 8/18 第56回全国青年集会 (福岡市)
- 8/21 企業連理事会 (同和企業センター)
- 8/22~24 第43回高野山夏期講座 (高野山)
- 8/23 狭山ピラ統一行動
- 8/27 部落解放和歌山県共闘会議 第37回定期総会 (同和企業センター)
- 8/30 2012年度対和歌山市交渉 (勤労者総合センター)
- 狭山学習会
 - 8/18 鳴神
 - 8/20 古和田・西井阪
 - 8/20 新宮
 - 8/21 平井
 - 8/24 芦原
 - 9/1 山口

感想がのべられた。表彰式の後、懇親会がひられ、席上各受賞者の感想のべられ、善明寺識字学級を代表して山本はつ美さんは「善明寺の歴史を私たちの子どもの頃の生活をともに描きました。文字を作るのも大変でしたが、それを絵にするのに苦労しました。今後も識字の灯を消さないよう頑張つて続けていきたい」と受賞の喜びを語った。



農業生産団地の説明を受ける参加者

7月11日、県連農林漁業運動部と和歌山県で、同和対策事業の一環で設置された農業生産団地の現地調査をおこない、現在の施設規模や生産状況、問題点などの説明を受けた。はじめに、「湯浅町農産物生産組合」は、組合員3名とパート4名で運営しておりイチゴやアスパラガスなどを直売所に出荷している。つづいて、紀の川市の「打田町近代化施設園芸組合」と女性や障がい者雇用をおこなっている生産組合を視察した。近代化施設園芸組合は、組合員4名、パート3名で運営し、トマトやミニトマトな

生産団地現地視察

どをカゴメ(株)や「めっけもん広場」などに出荷している。現在も行政を通じて指導がおこなわれているが、技術力の向上、行政のサポートシステムの確立、さらに流通システムの確立など根本的な課題があげられている。今後は、各生産組合の要求を集約し、本来の設置目的を損なわないよう、課題解決に向け行政と協議をすすめていかなければならない。



施設で作られているトマト

支局からののお知らせ



お気軽にお電話を!

和歌山支局では、各支部でのとりくみを積極的に紹介していきたいと思ひます。支部活動や子ども会活動など、支局までお知らせいただければ、取材に走ります。もちろん、投稿記事も大歓迎! 写真を添えて支局までお送り下さい。

(発送先) 〒640-8314
和歌山市神前405-3
部落解放同盟県連合会内
解放新聞和歌山支局宛